

セーフティーロード☆サロマ

Traffic Safety

[交通安全]



真冬よりも怖い春先の道路 凍結路面にご注意ください！

2月中は、暴風雪警報がでる日や日中にはプラスの気温で雨が降るなど異常な天候の日がありました。

例年だと3月にはまだまだ寒い日があるものの、穏やかに春に向かう時期です。今までの積雪が日中に溶け、夜間や朝方に凍ることを繰り返し、日陰やトンネルの出入り口ではブラックアイスバーンになることが多くなります。気温は穏やかになってくるものの、油断はできません。スピードダウンで安全運転を心がけましょう。

今回は、この時期に注意したい交通安全についてお伝えします。

③歩行者は横断歩道を！

歩行者の方は道路を渡る際は横断歩道を渡り、青信号でも車が来ていないかしっかり確認しましょう。また、横断歩道のない場所では、十分に確認をしてから最短距離で渡りましょう。

②急加速・急ブレーキは禁物！

凍結と溶けるのを繰り返している場所では、氷の表面にうっすらと水が浮く状態になることがあります。天候によって完全に凍結せず、水が表面のりと氷だけの路面よりもタイヤのグリップがきかずに滑りやすくなります。こうした状況では、急加速はタイヤの空転をおこし、急ブレーキでは止まらずにスピンにつながる危険があります。静かな走りだし、十分な車間距離をとって走行しましょう。

①もちろんスピードダウン！

この時期に限ったことではありませんが、凍結のおそれがある道路ではスピードダウンが大切です。特に夜間は、車のライトでは濡れているだけか凍結しているかの判断が難しくなりがちです。『かもしれない運転』で凍結のおそれがある道路ではスピードダウンを心がけましょう。

凍結路面での注意事項



デイライト運動実施中!!
あなたも参加しませんか!?

▼交通事故発生状況
575日(2/18現在)

▼交通事故発生状況
(平成26年1月末現在)

発生	0件(1件)
死亡	0人(±0人)
傷者	0人(±5人)

()内は前年比

発生件数は人身事故の件数

▼STOP ザ 交通事故
ちかくても
ちゃんとしようね
しーとべると

佐呂間小学校2年
佐々木 歩

永年の功績を称えて 故 爲廣 紀義 氏 特旨叙位受章

平成26年12月22日付けで、故 爲廣 紀義氏が特旨叙位(正六位)を受章されました。

故 爲廣氏は昭和48年9月から平成13年9月まで、佐呂間町議会議員として連続7期28年の永きに亘り在職し、その間、議会議長を務めるなどその職務を全うし、議会の円滑な運営に尽力され、地方自治の育成発展に貢献されたことが認められたものです。また、これらの功績により、平成21年4月29日には旭日双光章を受章しております。

特旨叙位は、平成27年2月6日、永代町のご自宅において妻のカズ子さんに伝達されました。



左から爲広裕司さん、紀義氏の妻カズ子さん、川根町長

社会を明るくする運動作文コンテスト 柴田海宇さんが佳作に入選！

第64回「社会を明るくする運動」小・中学生作文コンテストで、佐呂間小学校6年生柴田海宇さんの作文「社会を明るくするために」が入選されました。

この作文コンテストは、犯罪や非行の防止と罪を犯した方の立ち直りについて理解を深め、明るい社会を築こうという運動の一つとして例年開催されています。他町村からの応募は多いものの、佐呂間町での応募は多くはありません。柴田さんの入選を期に参加される方が増えるといいですね。

柴田さんには、2月6日、佐呂間小学校で川根町長から表彰状、記念品が手渡されました。



左から川根町長、柴田さん、保護司の住吉さん、北村さん

長年の活動収益で学用品を寄贈 子どもたちからは笑顔と感謝が

紙パックのリサイクル活動などを行っている町内のボランティア団体「睦会」の皆さんが、リサイクル活動での収益で町内の中学校、3小学校、保育所へ学用品の寄贈を行いました。

睦会の皆さんは、学校給食の牛乳の紙パックや町内で回収した紙パックを再度洗浄や大きさを整理し、リサイクル業者へ引き渡す活動を行っています。

今回の寄贈には約10年分の収益を貯めて、子どもたちに喜んでもらえ、役立つものをと、学校には国語ノートや保育所には紙芝居を寄贈しました。



佐呂間小学校でのノート寄贈



北区で撮影した、アイスクャンドルタワー。遠くからも確認でき、近くで見てもとても綺麗で何回もシャッターを押してしまいました。ここ数年、北自治会単位でイベントに参加されていて、別の場所ではアイスクャンドルロードをみることができます。毎年、参加されている方々の手間暇が見る側に素敵な時間を与えてくれています。



2月14日、かまくら雪まつりに先立ち行われた「サロマキャンドルスローナイト」。

今回は、天候も悪かったためか、昨年よりも大幅に少なくなりましたが、企業、自治会、町内会、個人でなどアイスクャンドルの優しい灯りを見ることができました。たまには、テレビを消し、電気の代わりにキャンドルを。と、環境にも人の心にも優しい時間をつくるために

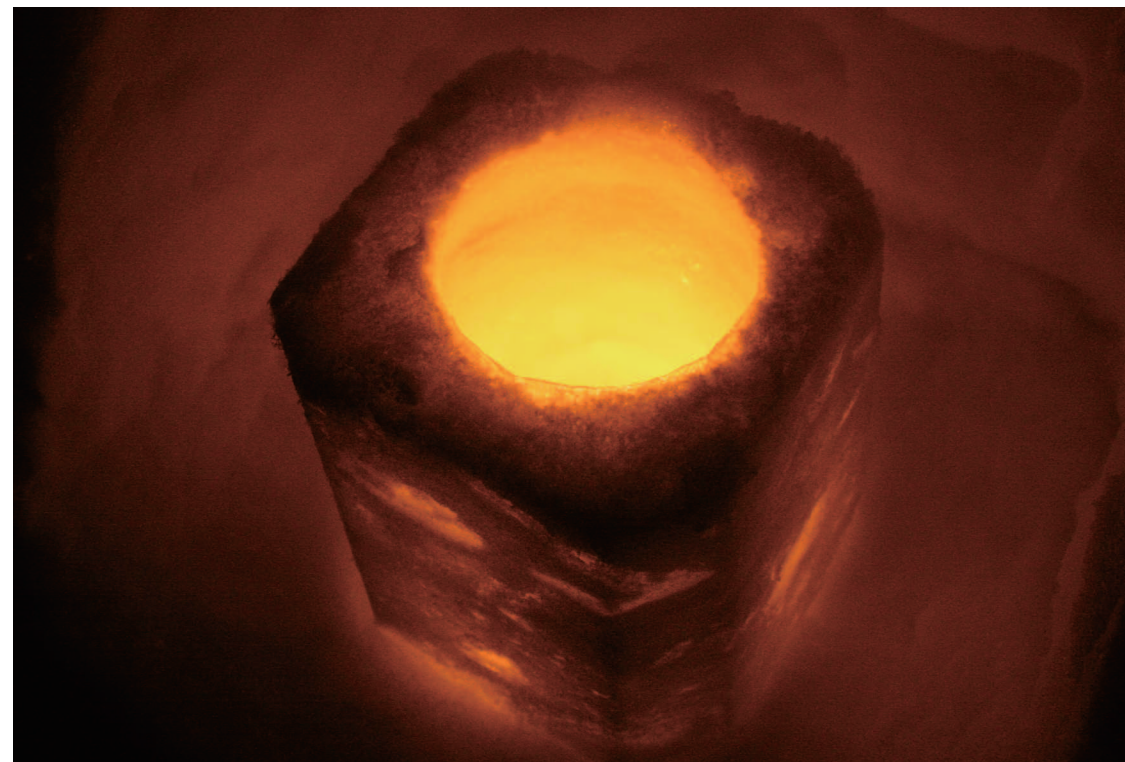
始まったこのイベント。私が広報担当になってからずっと追いかけてきたイベントでもあります。

テレビの雑音、家電の待機音などもない静かな時間の中で、家族、友人、恋人と一緒に心から向き合い話す時間、自分一人の贅沢な時間、自分を見つめ直す時間。としてもキャンドルの優しい光がその時間をつくってくれます。

ご自宅の前にはアイスクャンド

ル。部屋の中ではいくつものアロマキャンドルに火を灯し、ほんの少しの時間でもスロウな時間を過ごしてみるのもよいものです。サロマキャンドルスローナイトに限らず、時折そんな時間を過ごしてみてはいかがでしょうか。

そして、いつかこの日には電灯も消され、町中がキャンドルの灯りに包まれる「やさしいまち」になればステキだなと思っています。



2013年に佐呂間自治会：新興町町内会で撮影した。珍しいスノーキャンドル。アイスクャンドルとは一味違った灯りで道路を照らしてくれていました。この年、町内会の道路沿いには各家庭で作られたアイスクャンドルが並び、優しい光で道路が包まれていました。



2012年、高橋土建(株)前で撮影した作品。毎年たくさんのアイスクャンドルとキャラクターをかたどったかまくらや滑り台で楽しませてくれています。撮影時には家族で記念写真を撮りに来ている方と出会うことも多く、多くの方が楽しみにしているようです。これだけたくさんのアイスクャンドル作成には苦勞されていることがわかります。感謝とともに、当時の撮影技術の無さで美しさを伝えきれないのが残念。高橋土建(株)の皆さんに申し訳ありません。今回もお忙しい中、たくさんのアイスクャンドルを作成していただきました。